3．特定種の確認状況

絶滅危惧種等に該当する特定種を東北の河川とダムで７７種確認。（全国で３０４種）

現地調査において確認された調査項目ごとの確認種のうち、天然記念物、環境省レッドデータブック及びレッドリストの掲載種の確認状況を下表に示しました。

平成１６年度調査では、東北の河川とダムにおいて絶滅危惧ＩＢ類のホトケドジョウ（魚類）が確認されました。また、河川では天然記念物で絶滅危惧ＩＢ類のオジロワシが確認されるなど、東北地方では貴重な生物の生息･生育の場となっていることが分かります。今後も河川水辺の国勢調査により、特定種の生息状況のモニタリングを続けていくことが必要です。

表3－1　平成１６年度調査における特定種確認種数

区分	調査項目	東北						
		絶滅危惧ＩＡ類	絶滅危惧ＩＢ類	絶滅危惧II類	準絶滅危惧	情報不足	地域個体群	合計
河川	魚介類 注1)	0	1	5	4	0	0	10
	底生動物	0	0	1	7	0	0	8
	植物	0	3	10	4	0	0	17
	鳥類	0	2	2	4	0	0	8
	両生類	0	0	0	0	0	0	0
	爬虫類	0	0	0	0	0	0	0
	哺乳類	0	0	1	0	0	0	1
	陸上昆虫類等	2		1	6	1	0	10
小計		8		20	25	1	0	54
ダム	魚介類 注1)	0	1	1	2	0	0	4
	底生動物	0	0	0	3	1	0	4
	植物プランクトン	-	-	-	-	-	-	-
	動物プランクトン	-	-	-	-	-	-	-
	植物	0	4	12	4	0	0	20
	陸上昆虫類等	0		1	11	1	0	13
小計		5		14	20	2	0	41
合計 注2)		13		30	32	2	0	77

注1）①に記載している魚類の確認種は、エビ･カニ･貝類を含めた確認種です。
注2）各特定種の河川とダムの合計は、それぞれ重複して確認されている種があるため、合計値は一致しません。

凡 例）
- 絶滅危惧 IA 類　：ごく近い将来における絶滅の危険性が極めて高い種
- 絶滅危惧 IB 類　：IA 類ほどではないが、近い将来における絶滅の危険性が高い種
  （注：エビ･カニ･貝類、底生動物、陸上昆虫類等では IA 類と IB 類を併せて「絶滅危惧 I 類：絶滅の危機に瀕している種」としている。）
- 絶滅危惧 II 類　：絶滅の危険が増大している種
- 準絶滅危惧　：現時点では絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」に移行する可能性のある種
- 情報不足　：評価するだけの情報が不足している種
- 地域個体群　：地域的に孤立しており、地域レベルでの絶滅のおそれが高い個体群

◆東北の河川における絶滅危惧種の確認状況

東北の河川において絶滅危惧Ⅰ類が8種確認。

下表に東北の河川において確認された絶滅危惧Ⅰ類の種を示します。
阿武隈川ではホトケドジョウ（魚類）が、鳴瀬川では天然記念物のオジロワシ（鳥類）が、雄物川ではオオセスジイトトンボ（陸上昆虫等）などの絶滅危惧Ⅰ類が8種確認されました。
これら絶滅危惧種については、今後とも、引き続きその生息状況をモニタリングする必要があると考えられます。

表3－2　東北地方の河川において平成16年度調査で確認された絶滅危惧Ⅰ類の生物

項目	種類	特定種区分	今回調査
魚類	ホトケドジョウ	絶滅危惧ⅠB類	1河川　（阿武隈川）
鳥類	オジロワシ※	絶滅危惧ⅠB類	1河川　（鳴瀬川）
	ハヤブサ	絶滅危惧ⅠB類	2河川　（馬淵川、鳴瀬川）
植物	ホソバイヌタデ	絶滅危惧ⅠB類	1河川　（最上川）
	クロビイタヤ	絶滅危惧ⅠB類	1河川　（米代川）
	マルバノサワトウガラシ	絶滅危惧ⅠB類	1河川　（米代川）
陸上昆虫	オオセスジイトトンボ	絶滅危惧Ⅰ類	1河川　（雄物川）
	ヒヌマイトトンボ	絶滅危惧Ⅰ類	1河川　（北上川）

※オジロワシは文化財保護法により国の天然記念物として指定されている種です。

オジロワシ（鳴瀬川）



写真：国土交通省　湯沢河川国道事務所
※写真は平成13年度調査で撮影されたものです。

オオセスジイトトンボ（雄物川）



写真：
国土交通省　秋田河川国道事務所

◆よく知られている特定種の確認状況（東北の河川）

メダカを東北地方では高瀬川と阿武隈川の２河川で確認。
（全国では６５河川中３９河川確認）

今回の調査では、高瀬川と阿武隈川においてメダカが確認されました。

メダカについては、１９９９年に環境省（庁）が公表したレッドリストの中で、絶滅の恐れがある種（絶滅危惧Ⅱ類）として掲載され話題を呼びました。

メダカが減少した原因については、農業用水路や河川がコンクリート張りにされたことなどが考えられております。

今後とも、引き続きその生息状況をモニタリングする必要があると考えられます。

メダカ（高瀬川）



写真：
国土交通省　高瀬川河川事務所

◆東北のダムにおける絶滅危惧種の確認状況

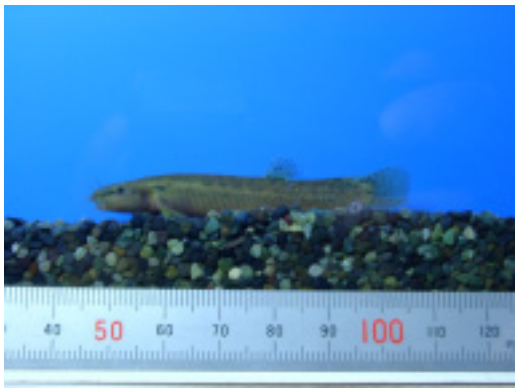
東北のダムにおいて絶滅危惧Ⅰ類が5種確認。

下表に東北のダムにおいて確認された絶滅危惧Ⅰ類の種を示します。
福島県三春ダムではホトケドジョウ（魚類）が、宮城県七ヶ宿ダムではヒメサユリ（植物）などの絶滅危惧Ⅰ類が5種確認されました。
これら絶滅危惧種については、今後とも、引き続きその生息状況をモニタリングする必要があると考えられます。

表3－2　東北地方のダムにおいて平成16年度調査で確認された絶滅危惧Ⅰ類の生物

項目	種類	特定種区分	今回調査
魚類	ホトケドジョウ	絶滅危惧ⅠB類	1ダム　(三春ダム)
植物	ホソバツルリンドウ	絶滅危惧ⅠB類	1ダム　(寒河江ダム)
	ヒメサユリ	絶滅危惧ⅠB類	1ダム　(七ヶ宿ダム)
	イイヌマムカゴ	絶滅危惧ⅠB類	1ダム　(寒河江ダム)
	オオハクウンラン	絶滅危惧ⅠB類	1ダム　(鳴子ダム)

三春ダムにて確認された
ホトケドジョウ



写真：
国土交通省　三春ダム管理所

七ヶ宿ダムにて確認された
開花前のヒメサユリ



写真：
国土交通省　七ヶ宿ダム管理所